

ことねぎだより

2018年8月号 NO.135 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

平成30年7月豪雨の被害について

3地域合わせて約1.4haの倒伏と浸水被害。主に夏葱を生産している亀岡地域が広範囲で浸水し影響を受けました。

その後は早急に圃場整備をし、病気が広がらないようにと畑を見守り続けました。

亀岡では当時、緊急エリアメールが鳴り続け、避難勧告が出され、市内への交通規制がかかり、畑の様子も見に行けずと心休まらない時間で豪雨が長く感じました。こんなに不安な梅雨明けは初めてで、結果西日本としても大きな災害となり、「夏がきた」と素直に喜べない梅雨明けと夏の始まりになりました。

お客様からはご心配のお言葉やエールを頂き、心を強くして作業に取りかかれました。

この場を借りて、感謝申し上げます。

今月の「ことねぎ」先月に引き続き「夏葱」のお届け。割合的には美山で育った葱。先月の豪雨で一部、河川の氾濫により浸水。圃場外の水が入ると葱が弱ったり病気の原因に。雨明け後すぐに農人たちが早急に対処し、葱を守りました。爽やかな酸味とすらっと長く柔らかい葉、ご賞味ください。



● 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

今年も夏季限定で商品化!

九条ねぎパウダー使用の新商品

カルビー様の堅あげポテト匠味シリーズの新フレーバーに、私たちの九条ねぎのパウダーが使用された商品が販売されて



います! 期間限定で、9月上旬頃まで全国のコンビニエンスストアにてお買い求めいただけます。畑で作った九条ねぎがこうして商品としてカタチになり、全国へお届けできること嬉しく思います!



細にいる農人たちの今を伝えます。

梅雨が明けてから記録的な猛暑日が続く、今年の異常気象を身体で感じる毎日です。8月もどんな気候になるか心配です。

ねぎにも農人にも厳しい暑さ

連日の猛暑が続く、湿度の高い畑での作業は経験がある方でも負荷が大きいです。鍛えられた農人も、普通の人間だったと実感できる暑さです。人間が快適な気候は実はねぎにとっても快適で、人間にとって暑すぎる気候は、やはりねぎにとっても厳しいものです。農人は暑さと闘いながら、散



水や肥料散布でねぎを守り続けています。毎日暑い日々ですが、陽が落ちる空の色は夏にしか見れない幻想的な風景が綺麗です。



炎天下の中の休息时间



報道でもあるように、熱中症にならないようにと自分と周りの仲間に変化がないかと常に気をつけています。そんな屋外作業が続く農人たちに、会社からアイスを提供しています。木陰に座ってアイスを食べることで、ちょっとした涼を得られているようです。一息ついて、小さな活力にして乗り切っています。